

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號五第 卷一十第

論 說

歴史と社會學との關係(一)……………法學博士 財部 靜治

地方税としての地租の課税標準……………法學博士 神戸 正雄

限界的生産力の勞賃説……………法學博士 田島 錦治

農業社會主義的土地改良論者……………法學博士 河田 嗣郎

價值論上のリカルドとマルクス(二)……………經濟學士 堀 經夫

時事問題

北支那の飢饉……………法學博士 戸田 海市

雜 錄

濠太利の貿易と海運……………法學士 小島昌太郎

徳川時代に於ける農本の意義……………法學士 本庄榮治郎

將來の産業的指導者としての日本及び其他諸國……………法學士 石川 興二

京都市經濟學會第二回講演會記事……………法學士 大森 研造

保險に關する新著紹介……………法學士 小島昌太郎

將來の産業的指導者としての 日本及び其他の諸國

石川 興三

此文は現代經濟學界の第一人者と云はれて
ゐるアルフレッド・マーシャル氏が、其大著經濟
原論の姉妹篇として昨年公にせし「Industry and
Trade」の第一篇に於て、近世の産業的指導者と
しての英、佛、獨、米を順次に論述せし後、將
來の産業的指導者に論及せし一節を抄譯したも

のである。而して其題名は Some slight speculation as to future homes of industrial leadership. としてあるが、余は此を抄譯するに當り、其内容の東洋方面殊に日本につきて論じてあるところに興味を中心を置きしが故に、前掲の如くに其題名を改めたのである。氏が此著書に於て産業上の技術の進歩の影響と云ふことに特に重きを置いてあることは、其著の序文の冒頭に於て The present volume is a study of industry and trade; with special reference to the technical evolution of industry and its influence on the conditions of man's life and work. と云ふてあることにより既に明であるが、此節の論に於ても、氏は同じく此點を重んじ、將來の産業上の技術の發達が各國民の産業上の將來の指導者としての運命に對する影響の考察に重きを置いてあることを明に窺ふことが出来る。而して此がまた余が此抄譯をなす興味を感じた一點である。

産業の進歩に貢獻する諸思想は、必ずしも産

業上有力なる諸國からのみ來たものではなかつた。然し經濟的發展の諸條件が現代と餘り變りなき限り、産業上の主たる先導は、其國が大であり又た自然の資源に富み且多くの貯積された資本を有するが爲、學者及發明家の建設的思想を實地に適用する上に於て高度に組織されたる精神的及物質的設備を集中することを得る諸國に、存するが如くである。然し産業の進歩に貢獻すべき諸思想の發達するにつれ、斯ることに關して將來を豫見することは益々困難となるのである。例へば機械に關する技術の進歩殊に米國式のもの、米合衆國等の如く其内部が統一し人口の密なる大國が、大量生産より得る利益を一般に増大したが、オーストリア、カナダ等は人口が密でないが爲に、其利益を十分受る上に困難を感じた。然しながら將來に於ける諸發明の大なる發達は、産業的指導を、必ずしも人口の密なる國に限らざるに至るかも知れぬのである。斯くて我々は遙前途を豫見することは出來ないが、然し少し先を見て推測を敢てして見

よう。それは豫言としての價値は少くとも兎に角、現在の事に關して熟慮せしむることゝなるのであらう。

先づカナダは或程度までは米國と產業的指導を共にして種々なる發展をなしつつある。今や米國より、諸種の民族に屬してゐるが然し一樣に仕事に熟練せる技能と既に十分なる資本とを有してゐる農夫が、其新しき小麥の産地へ多勢押しかけてゐる。其耐へ難き氣位は、初め其進歩を遅らしたが、今は反つて最有能であり且物理的困難に遭遇することを意とせざる人々を撰び取ることゝなつて、カナダを利益しつつある。而してカナダの前途には旺盛なる將來が横はつてゐる様である。

南米は從來諸困難の下に於て大なる精力を示した。今や幸福に結ばれたる和蘭人及英國人の堅實なる力は、白人種と黑人種との親密なる協同の新なる而して一層成功せる諸方法を開くことゝならう。其距離は廣大であつて而も交通機關は貧弱であるが、其資源は莫大である。

オーストリアは勞動者を全體として文化及物質的享受の高き標準に高めんとして、非常なる努力を以て、進んでゐる。其人口の増加率の幾分緩除なることは、主として其地理的特性に基くのである。其交通の主たるものは、從來海運であつたが、今やシドニー及びメルボルン附近には大なる鉄道網が發達しつつある。其國民の優れたる精力は、諸困難のあるに拘らず、其大國の自然的資源を發展さすに足るであらう。ニュージーランドは規模小なりと雖も、其民族的及物理的條件は最善なる英國的傾向を發展せしむるに非常に好都合である。

次に歐洲の諸民族より眼を轉すれば、我々は、日本に於て、主として西歐式の進路をとれる東洋に於ける、勇敢なる產業的指導權の要求者を見るのである。其大陸に接近せる島國としての地位は、英本國の地位と殆ど同様に、能く商工業の發展に適合せるものである。日本は過去三十年間に於て非常に多くを學びたるが故に、其が程なく他に致ふる位置に立つに至るべしと云

ふことは殆ど誤なきところである。成程其國民が引き續き激しき肉體的努力を持續するが爲には今よりも續き力になる食物を要しはするが、然し高き企業心と結合せし其獨特なる克己心の力は、多くの奢侈品及愉樂の爲の品を久しく慣例的必要品と看做してゐる歐洲諸國に於けるよりも、遂に短かき且簡易なる道行によりて諸種の大なる目的を遂行することが出来るであらう。而して日本國民の力の向上が速かなりしことは、實際的方面に於ける一國民の大なる勢力の著しき發現の根底には、一般に、理想主義的思想、宗教、愛國心又は藝術に對する其國民の接觸が發見せられると云ふ、過去の歴史によりて作られたる提案を助くるものである。

印度は嘗て世界に現らはれ來りし最大なる思想の或もの、生れしところであり而してまた最精巧な且最藝術的な手工業の多くのもの、創造されたところである。印度は過去に於ては統一の缺如及工業并に運輸の力の不足より苦しんだのであるが、然し其は尙ほ石炭の多くを有して

ゐるであらうし又た其或地方は水力電氣によつて富まされるであらう。近時に於ける其大産業の急速なる發達は、彼の誇の源泉であると共にまた英國の喜の源泉である。

露國及支那の將來もまた大なるものがある。

其土地は孰れも廣大であり連續的であり自然の物資を十分に包含してゐる。然し大なる仕事を遂行するには、大洋の航路に接近してゐると云ふことが、必須の條件である限りは、其莫大なる資源を開發することは困難であらう。兩國民は各々氣性を異にしてゐる、支那人の永續性に富む性質は露西亞人の敏感なる性質に對して埋合せとなるのである。而して兩者は共に長き過去の歴史に於て多くの困難を嘗めたる祖先より大なる忍耐力を受け繼いだ。されど其最近に於ける出來事は其前途を不明にするものである。今日までは、熱帶の氣候は、假令短き期間に於ては可能なるも、長き間激しき心身の努力を保持すに適しなかつたから、如何に勢力旺盛なる民族にとつても最善なる精力を發揮するが

爲には致命的障害であつた。されど此熱帶地方には豊饒なる土地及礦物の資源がある、而も此等のもものは水の供給の十分でないところに於ては十分に利用することは出来ぬ。是れ、水は家事用のみならず、他の方法のなき場合に於ては、太陽の光線の中にあるエネルギーを種々なる冷却的装置の助によつて機械力に轉換するに必要だからである。斯る技術の進歩が産業的指導の條件を恐らくは變更することの出来る他の一方向である。然し茲には、産業的指導が現在と同じ民族又は同じ氣候の地に何時までも留まるべしと考へ又は其一般的性質が變はらざるべしとさえ考へるべき何等確實なる根據なきことを、差當り結論して置けば足るのである。(終)